OUT THERE Itoshima
志摩園だより

2020. 7.31発行
社会福祉法人
志摩会
第68号

福岡県糸島市志摩久家2527番地2
TEL092-328-2121
E-mail shimakai@proof.ocn.ne.jp
http://www.shimaen.or.jp

特別養護老人ホーム志摩園
ショートステイ
デイサービス
ケアプラン
配食サービス

小規模多機能型居宅介護

糸島市志摩地域包括支援センター

地域貢献：オレンジ志縁隊・げんき志縁隊・せいかつ志縁隊、・おでかけ志縁隊
まつり志縁隊・よか志縁隊、
たまり場岐志・桜野・姫島茶所、おこもりカフェ岐志浜

2020.6.10　たからんたま田植えの会

真正の早乙女にひとみばあさん

ひとりじゃさみしいから
志摩会のひとみさんたちが
彩りをそえてくれました
ありがとう　ひぃちゃん！！

小規模多機能型

6/10

第1回たからんたま田植えの会

～今年でなければできない企画～

こんな時だからお馴染みのキャラで

お昼は竹皮弁当、100食を手作りしました

メイク真っ最中

待ってました！
お弁当の時間

さなぼり交流会は今年12回目を迎える予定でしたが中止に。けれども田植えはいつもどおりです。子どもたちの歓声もありませんでしたが、たからんたまのご利用者と職員の手により、**ヒノヒカリ**を30坪の棚田に手植えました。

雨で交流会が中止の代替としての田植えは仕方ありませんが、それ以外の理由で“田植えの会”が2回3回と続かないことを願い、早苗を力強く定植。

秋の収穫祭は、地域の皆様にお手伝い頂き、賑やかに開催できますよう、大切に育てていきます。

マスクを付けたり、外したりと大変でした

元気いっぱいのたからんたまの皆様です

令和2年度第1回定時 志摩園入所検討会議 4/23

今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面式ではなく、書面審議により確認しました。

★要介護度別志摩園（定員130名）入所申込者の推移

（名）

	H26.10.1	制度改定	H29.10.1	H30.4.1	H30.10.1	H31.4.1	R1.10.1	R2.4.1
要介護5	27		26	22	17	21	15	17
要介護4	43		46	35	38	33	38	42
要介護3	48		60	45	44	39	54	47
要介護2	49		19	16	11	13	16	15
要介護1	52		2	7	7	5	5	6
計	219		153	125	117	111	128	127

入所待機場所別介護度(R2.4.1現在)

	在宅	医療機関	老健	特養	G･H	有料	養護	軽費その他
要介護5	6	4	5	1	1	0	0	0
要介護4	12	8	17	2	2	0	0	1
要介護3	19	8	14	0	1	4	0	1
要介護2	9	2	2	0	0	1	0	1
要介護1	4	1	0	0	0	0	0	1
計	50	23	38	3	4	5	0	4

入所申込の受付状況	R1.10～R2.3までに新規入所申込者数　35名 ※入所待機者で医療的ケアが継続されている方は透析2名、胃瘻2名、鼻腔栄養1名、インシュリン注射1名、気管切開からの吸引1名で、前回より1名減少しましたが、医療的ケアの種類は多様化しています。
入所状況	R1.10～R2.3までに入所者数 15 名　内、特例入所1名
入所辞退数等	①在宅生活継続 13名　④ご逝去 9名 ②他施設入所 12名　⑤その他 2名 ③入院継続 7名　計 43名

糸島市				
	志摩地区	70名	福岡市	7名
	二丈地区	8名	その他	3名
	前原地区	39名	計	127名

Free space －Inside of the shimaen－ #3

今回はこの人に聞く！！

川崎

入職6年目のたからんたま志摩小規模多機能型居宅介護事業所の介護職員、川崎さんです。彼女は、新卒採用時には管理栄養士の資格をもっていました。たからんたまでは介護職員として配置し、平成28年度には介護福祉士を取得。
そして、令和元年度に保育士の資格を取得したのです。
単なる資格マニアではなさそうな彼女に質問形式で思いを語ってもらいました。

Q1 保育士の免許を取ろうと思った理由をおしえてください。

A　高齢者から子供まで福祉分野の広範な知識、技術を身につけたいと思いました。介護福祉士なので、筆記試験が3科目免除されました。

Q2　夢は　？

A　仕事でも、プライベートでも糸島に貢献していきます。トップよりも縁の下の力持ち的な存在でいることが自分に合っています。糸島市青年団員として、糸島振興のために活動してきましたが今年度末で解散、また新たな機会に挑戦です。

2019年度志摩会事業報告　ピックアップ

2019年度は、人事・労務管理に関わる活動がウエイトを占めた一年でした。働き方改革への対応準備や介護職員等特定処遇改善加算の導入対応などが一例です。さらに、第4四半期になると新型コロナウイルス感染拡大防止対応といずれも志摩会が初めて対峙する事柄ばかりでした。こんな中、わずかながらも法人全体として、4期振りに収益で黒字を回復できたのは職員のガンバリの結果です。

1 人事・労務管理

○働き方改革関連

①有給休暇の取得状況：3月までかかりましたが、138人の対象職員全員が年間5日以上の消化ができました。

②労働時間の把握　：出勤簿に押印方式から遂にタイムカード導入に向けて、課題整理中です。緊急時等対応など突発的な残業を想定し、特別条項を入れた36協定を締結。

③時間外上限管理

④同一労働同一賃金　：正職員、パート職員、嘱託職員の雇用区分毎に就業規則、給与規程等を整備しました。

○介護職員等特定処遇改善加算の届出

令和元年度は1～3月の3ヶ月の請求に基づき、333万円余りの加算額を受領しました。支給対象職員は介護職種以外の職員も含めています

2 地域貢献活動

職員有志の“志縁隊”が活動の主体で、6番目の“よか志縁隊”を結成し、障がい者(児)の余暇支援活動を毎月1回開催しています。2019年10月スタートで昨年度は6回の予定でしたが、3月は新型コロナウイルスの影響で休止しています。

第1回10/27	参加者30名(男9、女21) 職員等12名	挨拶、体操、きょうの遊び
第2回11/24	参加者34名(男12、女22) 職員等12名	〃　、楽器遊び
第3回12/22	参加者37名(男11、女26) 職員等11名	〃　、集団ゲーム、演奏会
第4回1/26	参加者22名(男7、女15) 職員等9名	〃　、集団ゲーム、昔遊び
第5回2/23	参加者22名(男6、女16) 職員等14名	〃　、キンボール

3 社会福祉法人利用者負担軽減

〔社会福祉事業〕
〔公益事業〕

	サービス種類	軽減件数	軽減総額	事業所負担	市町村助成費
糸島市	小規模多機能型	4 件	36,080 円	36,080 円	0 円
	介護老人福祉施設	64 件	563,780 円	563,780 円	0 円
	通所介護	8 件	11,107 円	11,107 円	0 円
	短期入所	12 件	38,056 円	38,056 円	0 円
	合計	88 件	649,023 円	649,023 円	0 円

法人自主事業の配食サービスに係る利用料軽減実績の推移	2019年度	2018年度	2017年度	
	2 名	2 名	2 名	(実人員)
	342 食	316 食	127 食	(延配食数)
	102,600 円	94,800 円	40,000 円	(軽減額)

4 看取り

ターミナル加算請求 ターミナル加算未請求 平均看取期間	2019年度	2018年度	2017年度
	8 名	11 名	15 名
	0 名	1 名	2 名
	55 日	78 日	16 日

5 退職者(法人全体)

介護職員	正規職員6、非正規職員6名	栄養・調理職員	正規職員1、非正規職員3名
看護職員	正規職員1、非正規職員1名		

6

自立支援介護の進捗

2019年12月 再スタート

2020年3月8日から失禁パンツ＋パッドとなり、夜間も含めオムツ不使用となる	
水分摂取ケア	一日平均　約1600ml
歩行訓練	車いすから歩行器使用となり、歩行スピードも増した。一日の歩行距離80m以上を維持。歩行後の息切れもほぼ消失
意識レベル向上ケア	以前は日中もベッド上が主で、今はほぼ離床で覚醒状態も良好。声掛けにも反応良く、自らの発語も聞かれるようになる
排泄ケア	以前は水様便、泥状が殆ど。2月からファイバー提供を始め、固形便が増えた。日中のトイレ案内回数を増やし、トイレでの排泄が多くなり、夜間帯もパッド交換のみで便失禁はほぼゼロ

お一人の成功事例が大きな自信に！

男性入園者Aさん(87歳、要介護3)のおむつ外しができました

2009年に志摩園に入園され、2019年転倒による腰部痛が端緒になり、おむつ着用となった方です。その後腰の痛みは軽減したため、理学療法士の指導のもと、移動能力の向上から誘導によるトイレでの排泄を計画していました。このタイミングで自立支援介護がスタートでき、おむつ歴9ヶ月の状態から協力して頂けることになりました。

2019年12月時点のAさんの状態	
自立度	障害高齢者B2　認知症Ⅲa
水分量	一日平均　約1200ml
生活リズム	規則的
意識レベル	活動時以外低下
屋内移動	車いすと歩行器併用
食事	平均1250kcal、常食以外
下剤	処方中

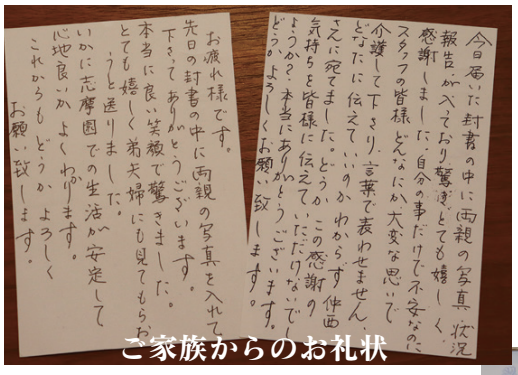
志摩園の新型コロナウイルス感染拡大防止対応の経過　（面会編）

20.2.20	福岡県内で初の新型コロナウイルス感染者発生の公表
20.4.7	「緊急事態宣言」を国が発出。期間は5月6日までとされる
20.5.4	「緊急事態宣言」の延長を国が発出。期間は5月31日までとされる
20.5.14	福岡県の緊急事態宣言解除。但し、感染第2波への備えは継続する
20.5.25	緊急事態宣言を全面解除。
20.6.19	移動の自粛を解除。

◆この間、国・県・市、老人福祉施設関係団体、個人の方などからマスクや消毒液等のご提供を受けました。
ありがとうございました。

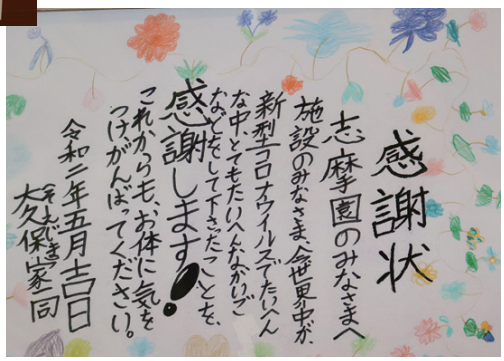
＜　志摩園　＞

- 2/20午後から入園者ご家族の面会制限を始める
- 4/4付で入園者ご家族に志摩園の1回目の経過報告等を近況写真付文書でお知らせ



ご家族からのお礼状

- 5/11付で入園者ご家族の窓越しの面会を試行開始
- 7/1から、看取り期以外でも特定の面会場所で対面による面会方法に緩和しました。
- 糸島市内でコロナ感染者発生を受け、7/12からおよそ2週間を目安に再び窓越し面会方法に変更しました。



頂戴したご家族の感謝状。職員も勇気づけられました

おこもりカフェ岐志浜

OPEN

おこもりカフェ岐志浜は、向こう3ヶ月ごとの“週替り”メニューを用意して皆様のご来店をお待ちしています

今回から岐志浜公民館が会場です

THE SUN ってきました

第106回 6/6 むかし遊び い・ろ・い・ろ プラス 新しい生活様式と脱水症対策のお話し

射的の的にコロナウィルスも。見事退治！

第107回 6/20 フラダンス & キャラメル作り

フラハナ・アロハ　野村先生、“糸”　でご指導

得点上位者にサプライズ！

キャラメル作り

ここまでは イィ感じ ♡

失敗！冷却時間が短すぎ！

ホントはこんな感じに仕上がります

第108回 7/4 夏本番健康講座

講師　志摩包括　樋口保健師

まず、八重樫社会福祉士の後任の日下部職員を紹介しました。健康講座では新型コロナ、熱中症、脱水症等の予防や罹患した時の対応等わかり易く解説。しっかりメモする方も。

第109回 7/18 絆様 紙芝居・お話し・歌

さらやしきのおきく

ますますお元気な絆の皆様。楽しい時間です

通常は6回分を紹介するところ、今回は4回分。そのため、いつもよりサイズ大きめの写真にできました。会場も変わったこともあって、3ヶ月のおこもり期間で新たなおこもりカフェが始まります。

楽しくもりあがろう

遊びの広場 わおん

キミ、だれ？

いつも新鮮！

◎毎月第4日曜日　13時30分～ 15時30分(2時間)
◎糸島市健康福祉センターふれあい　2階交流室で開催
◎ “きょうのあそび”メニューは定番と月替りの2本立て。
月替りメニューは季節の行事や注目のアイテムなど、
テーマを決め準備します。

事前の参加申込不要

it´s all right！

HERE COMES

みんなの笑顔が戻

6th 6/28

with アマビエさま ＆バルーンモデリング

アマビエさまに興味津々

アマビエさまのお話しをしていたら、ロックンロールのイントロに乗って…

まいど！
職員ハンドメイド！

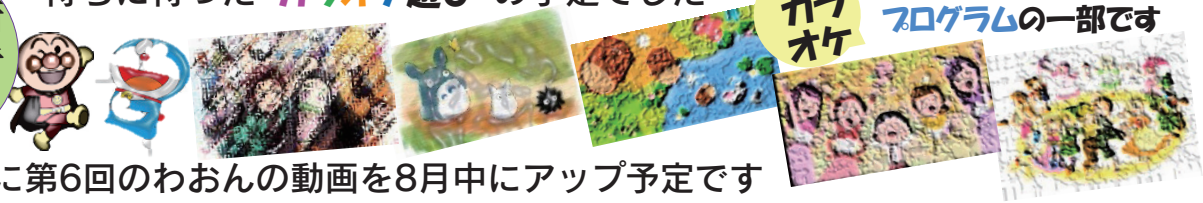
お家でできるコアトレーニングに続いて、バルーンモデリング。“コツ”がつかめたようです

プログラムの一部です

待ちに待った“カラオケ遊び”の予定でした

7th 7/26

県内で再び新型コロナ患者が増え、中止



志摩会HP「最新情報」に第6回のわおんの動画を8月中にアップ予定です

Info

2020年志摩園 夏祭りは中止に

地域の季節行事として親しまれている志摩園夏祭りですが、新型コロナウイルス感染拡大のおそれが拭いきれない状況から、今年の開催を中止しました。

ご来場を楽しみにされていた皆様には申し訳ありませんが、ご理解くださいますようお願いいたします。

でもやっぱり、夏の思い出はつくりたい…

感染の社会的状況を考慮しながら、入園者と職員で小ぢんまりと代わりのイベントができないか、可能性を探っています。

介護福祉士国試受験対策勉強会 かわい塾

塾長　河合副主任

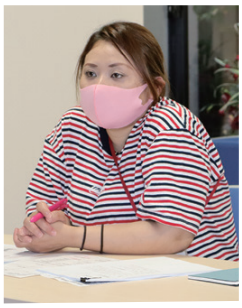
今年も7月から月1回のペースで、かわい塾を開催します。ここ数年、若手の介護職員が積極的に国家試験に挑戦して、見事資格をとってくれていますので、今年度はやや小人数のクラスとなりそうです。

集合形式よりも個別指導や自宅学習ができるよう講座の中味を対“コロナ仕様”にチェンジしてみるつもりです。

7月7日

第1回
開 講 式

職場や家庭の実践も活かします



介護福祉士の処遇改善は国をあげて講じてくれており、志摩園でもこれらの施策を経営に取込み支援しています。 介護福祉士のもっている可能性を無限に発揮するチャンスは目の前にあります。

【編集後記】志摩園だよりに掲載写真の殆どを撮影してきた愛用のカメラが4月初めに故障、ストロボが使えなくなりました。奇しくも、4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため内外の各種イベント等が中止となり、写真を撮る機会は激減しました。そのうちに福岡県の緊急事態宣言も解除され、いよいよ6月から以前の日常に戻れるかなという見通しのもと、このタイミングでカメラを新調したところです。

元来、機械ものの細かいセッティングなどはメンドウくさいし、嫌いな私ですので、付属の取扱説明書は最低限のセッティングくらいしか書いていないのは歓迎でした。ポテンシャルを引き出すためには、パソコンと同じように、別に市販の解説書を買わないとダメでしょうか。

さて、“新しい生活様式”、ガラケーを愛用し、SNSやらにも全く興味がない私が「このままじゃいかん！」と思ったのが外部組織のWEB役員会議に参加してからのことです。対面でないと雰囲気が読みづらいのはマイナスですが、移動時間は不要だし、話合いも画面共有機能があって、想像以上に細部にわたってカバーできることを実感しました。何よりも、他の施設長の皆さん、WEB会議に慣れておられ、操作やシステムにも通暁されています。

それに比べこのオレはと、心にさざ波が。

これまでどおりで行くのか、路線変更して、“新しい仕事様式”に自分自身を変えるのか。もしかすると、ただの食わず嫌いのような気がします。慣れさえすれば全然問題なしかもしれません。私の仕事環境を見渡せば、身近に多彩な能力をもつスタッフたちがいてくれます。彼ら彼女らとともに見る景色を変えていきたいですね。

もう一つ、変えたい景色は6月3日付朝日新聞に掲載されたインタビュー記事、「介護という仕事に対する『無意識で悪意のない見下し』」、です。そう、悪意でないのはわかっています。この景色を変えるには、社会にある人たちを変えることより、私たちが変わることが一番の近道といつも考えています。形式のリスペクトはいらないし、リスペクトされるくらい結果を出さないと。

（A・K）